

新型「ハイゼット カーゴ」「アトレー」、新「ハイゼットトラック」 月間販売目標台数を大きく上回り、好調にスタート

～新開発のFR用CVTや最新の「スマートアシスト」、進化した広い荷室スペースが好評～

ダイハツ工業株式会社(以下ダイハツ)が2021年12月20日(月)に発売した新型「ハイゼットカーゴ」「アトレー」、新「ハイゼットトラック」の累計受注台数が発売後1ヶ月時点で、月間販売目標台数を大きく上回りました。

特に、アウトドアやワーケーションなどの近年の新しいニーズにお応えし、「第三の居場所」として訴求する「アトレー」は、月間販売目標台数の約8倍となり、大変好調な立ち上がりとなりました。

新型「ハイゼットカーゴ」「アトレー」、新「ハイゼットトラック」受注内容

1. 受注台数

「ハイゼットカーゴ」	： 約13,000台【月間販売目標台数(5,700台)の約2.3倍】
「ハイゼットトラック」	： 約21,000台【月間販売目標台数(6,000台)の約3.5倍】
「アトレー」	： 約8,000台【月間販売目標台数(1,000台)の約8倍】

2. 主なポイント

3車種共に、新開発のFR用CVT^{※1}採用による「燃費・静粛性・発進性」、最新の予防安全機能「スマートアシスト^{※2}」による優れた安全・安心性能が好評。さらにダイハツ初採用の「スマートインナーミラー」は多くのお客様にオプション選択いただくなど、新たな装備も好評。車種ごとの特長は以下の通り。

<新型「ハイゼットカーゴ」>

- ・クラス最大^{※3}の積載スペースと使い勝手の良さを実現した荷室空間や、豊富な収納スペース、快適装備が好評
- ・CVT比率は、約90%

<新「ハイゼットトラック」>

- ・従来からご好評いただいていた広い荷台による積載性や耐久性、防錆性等の基本機能に加え、クラス初採用^{※4}のキーフリーシステム&プッシュボタンスタート等の快適装備が好評
- ・CVT比率は、約60%

<新型「アトレー」>

- ・アウトドアやレジャー等で幅広く使える「広くフラットな荷室空間」、全車速追従機能付ACC(アダプティブクルーズコントロール)やLKC(レーンキープコントロール)などの運転負荷軽減機能、ターボエンジンによる力強い走りや質感にこだわった内外装デザインなどが好評
- ・4WD比率は、約60%
- ・新設定のアトレーデッキバンの比率は、約10%

※1：フロントエンジン・リヤドライブ用CVT

※2：スマートアシストは、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、路面や天候などの状況によっては作動しない場合があります。機能を過信せず安全運転を行ってください。詳しくは販売会社または公式ホームページをご確認ください。

※3：軽キャブオーバーバンとして、荷室長/荷室幅(4名乗車時)/荷室高でNo.1。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同数値の車があります。

※4：軽キャブトラックで初。2021年12月現在、ダイハツ調べ。他社にも同時に初採用の車があります。